

地酒・中国酒、徒然草を学ぶ 蔵元屋を訪問(稲粋会)

11月12日(土)、初参加の塚原さん、紅一点の八牧さんを加えた14名は、県内の酒をお浸しすべく、先ず「蔵元屋(県酒造組合)」を訪問、林事務局長の丁寧な説明を頂きながら実習を楽しむ。その後、食事処「一條」に場所を変えてじっくりと。先ず、吉成新会長の発声で乾杯。続いて、朽木さんから「中国酒」のサワリの説明。白酒・黄酒を中心に豊富な現地体験を踏まえてのお話、早くも次回は「酒と〇〇〇」の話、との希望が出る程の盛り。徒然草(第百十七段)にある、友にするには悪きもの一つ「酒をこのむ人」について、名解説があり皆ひと安心。地酒、料理も堪能したところで、次回の催促あり、早速、2月に蔵見学を計画。県内前酒蔵の制覇が目標。東日本大震災には、チャリティグッズのお猪口を購入し気持ちを示した。



(昭35法 高坂 義郎)

カラオケ同好会が発足

11月1日第1回カラオケ会開く

厚木のビッグエコーでカラオケ会をやりました。参加者は9名。5時間の長丁場でしたが、得意の歌、なつかしい歌を次々に歌い、時のたつのも忘れすっかり青春時代に戻った気分、楽しい会になりました。最後は全員で紺碧の空を歌って終了。次回も皆様の歌声を待っています。

(昭44政 東方 勝彦)

活性化プロジェクト報告

会員増強と魅力ある会作りを目的に編成された活性化プロジェクト。伊保幹事長を中心に毎月幹事会前に集まり検討・実行案を協議してきた。昨年の入会勧誘1,000通のDMの結果、今期は10名も入会があった。ボランティア活動も参加、カラオケ同好会も発足させた。

(昭41商 草山 洋一)

早慶合同の夏の懇親会が盛大に開催される

厚木地区早稲田・慶応合同懇親会が、レンブラントホテル厚木の3階で、6月19日(日)に開かれた。今回は12回目、慶応側が幹事役で、三澤一重さんが司会をされ、参加者は早稲田42名、慶応28名、合計70名であった。開会の辞と代表の挨拶、そして乾杯の後、慶応独特のやり方である、両校の校歌を先に歌い、そのあと懇談へと移っていった。両校の校歌は、テープレコーダではなく、渡邊純子氏によるピアノの生伴奏で、彼女は慶応幼稚舎・中等部から桐朋学園高校・大学と進まれ、現在、世界で活躍されている有名なピ



アニストで、今回の懇親会のアトラクションとして、曲の聴き所などの説明をしていただきながら、合計3曲、演奏していただいた。

ト리는、恒例である、早稲田の中島久雄会長代行による閉会の挨拶で、爆笑のうちの閉会であった。

(昭43理 朽木 達)

東日本大震災に義援金

被災された皆さん並びに早稲田大学の学生及び校友の支援になればと、夏の懇親会や同好会活動等で集まった義援金を下記を通して夫々70,000円をお送りしました。

- *厚木市東日本大震災支援基金
- *早稲田大学校友会大震災救援金

(昭39政 二見 正春)

事務局だより

○ 会員の異動について

この1年間に6名の退会、下記2名の方の入会があった。(敬称:略)
平06 政経 澤井 康生
昭54 理工 永田 栄一
○ 次の方がご逝去されました。
昭32 村上 勝己 様
昭34 長田 隆志 様
昭35 千葉 胤和 様
ご冥福をお祈りします。

○ 事務局変更のお知らせ
総会において事務局長に昭41商 草山 洋一さんが選任された。

新事務局 厚木市船子607-8
(株)すまいる内

電話: 046-296-6006

FAX: 046-224-6571

sumailu-62@ai.ayu.ne.jp

(昭39政 二見 正春)

扉座『人情噺こうやたかお』を上演

横内謙介氏は文化会館芸術監督に

当会会員・横内謙介氏は平成11年より厚木シアタープロジェクトを展開中だが、その活動の一つ『あつぎ舞台アカデミー』では、選ばれた小中学生が9月4日に初公演を行い、大きな感動を呼んだ。この舞台裏を追ったドキュメント番組が12月17日20時からTVK(テレビ神奈川)で放送予定。ぜひともご覧下さい。(55分番組)

11月26日・27日には劇団扉座による『人情噺こうやたかお』が上演された。今回は女優・賀来千香子さんの小劇場初舞台となる記念すべき作品で、両日とも満員御礼、大喝采にて幕を閉じた。また横内氏は今年4月に厚木市文化振興財団の芸術監督に就任。益々の活躍が期待される。

(昭62政 藤野 心)